

春陽会東北信研究会

【発足及び経緯】

戦後、倉田白洋に絵を学んだ医師赤松新(半竹)は、版画家中西義男の周辺に集まる若い人々の為に洋画講習会を計画しました。小杉未醒(放庵)に講師の世話を依頼したところ、放庵は春陽会会員の岡鹿之助に上田市に行くことを要請しました。

1948(昭和23)年、発足した会の名称は「鹿苑会^{ろくえんかい}」。研究会は毎年実施され、作品批評や実技講習などを行ないました。その指導力は、研究生に新鮮な息吹と覚醒を与え、広く東信・北信からも人々が集まり盛況を博しました。

1978(昭和53)年岡鹿之助没後も、地区在居の春陽会会員が中心となり、今日までその精神は引き継がれています。その後名称を「春陽会東北信研究会」と改め、毎年春の春陽展への出品と年数回の研究会、年一回地元での展覧会などを行なっています。



【研究会活動】

2月・3月・7月に1回ずつ作品批評会を開催し、相互の作品研究・研鑽の場としています。



研究会風景1



研究会風景2



研究会風景3

【展覧会】

「春陽会東北信絵画展」・・・東北信研究会独自による展示。上田市にて隔年で開催。

「春陽会信州研究会展」・・・中信研究会・南信研究会との合同による展示。運営事務は3研究会持ち回りでを行い、展覧会場も運営事務担当地区の施設を使用。隔年で開催。



第20回春陽会東北信絵画展 会場批評会



第17回春陽会信州研究会展 記念撮影

【その他事業】

1月・・・研究会総会 新年会を併催。

5月・・・反省会 春陽展出品のまとめを実施。懇親会を併催。

春陽会東北信研究会

【発足及び経緯】

戦後、倉田白洋に絵を学んだ医師赤松新(半竹)は、版画家中西義男の周辺に集まる若い人々の為に洋画講習会を計画しました。小杉未醒(放庵)に講師の世話を依頼したところ、放庵は春陽会会員の岡鹿之助に上田市に行くことを要請しました。

1948(昭和23)年、発足した会の名称は「^{ろくえんかい}鹿苑会」。研究会は毎年実施され、作品批評や実技講習などを行ないました。その指導力は、研究生に新鮮な息吹と覚醒を与え、広く東信・北信からも人々が集まり盛況を博しました。

1978(昭和53)年岡鹿之助没後も、地区在居の春陽会会員が中心となり、今日までその精神は引き継がれています。その後名称を「春陽会東北信研究会」と改め、毎年春の春陽展への出品と年数回の研究会、年一回地元での展覧会などを行なっています。



【研究会活動】

2月・3月・7月に1回ずつ作品批評会を開催し、相互の作品研究・研鑽の場としています。



研究会風景1



研究会風景2



研究会風景3

【展覧会】

「春陽会東北信絵画展」・・・東北信研究会独自による展示。上田市にて隔年で開催。

「春陽会信州研究会展」・・・中信研究会・南信研究会との合同による展示。運営事務は3研究会持ち回りで、展覧会場も運営事務担当地区の施設を使用。隔年で開催。

【その他事業】

1月・・・研究会総会 新年会を併催。

5月・・・反省会 春陽展出品のまとめを実施。懇親会を併催。

~~~~~入会希望者募集中~~~~~

絵画・版画作品を制作され、全国公募展への出品に興味関心をお持ちの方、是非私たちと一緒に活動しませんか。

研究会(作品批評会)の見学・批評会参加など、随時受け付けております。

お気軽に事務局までお問合せください。

お問い合わせ先 携帯TEL090-5449-8394 研究会代表 齊藤 澄人